

まちを愛する人であふれるまちづくり

「まちで暮らすことを楽しむひとづくりで、いきいきと活気あふれる人が増えるまち」を将来像に据え、大山町の豊かな自然・歴史・文化等を活かしながら、教育や社会活動等の人材育成を通じて、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育むとともに、スポーツや芸術・文化、学びなど、生涯を通して好奇心や探求心を持って積極的に挑戦できる環境を整えます。

また、自然・歴史・文化等の深掘り・発信によって、町民一人ひとりが暮らしの中に楽しさや大山町への愛着を感じ、豊かな人生につながるまちの実現をめざします。

施策01 大山町で暮らすことに誇りを持つ子どもを増やそう

施策02 まちの自然・歴史・文化を知ろう

施策03 いつでもいつまでもスポーツを楽しむ人を増やそう

施策04 文化・芸術を楽しめる機会を増やそう

施策05 まちの誇りとなる文化財を守り、活用しよう

施策06 いくつになっても学び続け、行動し続けよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう



01 大山町で暮らすことに誇りを持つ子どもを増やそう

【 施策の目的 】

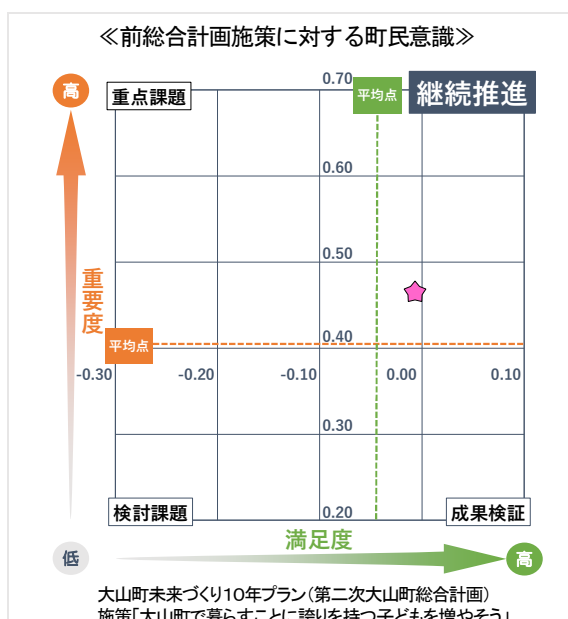
未来を担う子どもたちの学びに向かう力と確かな学力、大山町を愛する心を育て、子どもたちの成長を支えます。大山町の豊かな自然・歴史・文化等の大山の恵みを活かしながら、家庭・保育所(園)・学校・地域が一体となって、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育て、子どもたちの力を伸ばすとともに、まちの魅力を感じることができる教育をめざします。

【 現状と課題 】

大山町では65歳以上の高齢化率が年々増加する一方、少子化や都市部への人口流出が進行し、将来のまちを担う若年人口の減少傾向が続いています。このような状況の中で、大山町では、ふるさと教育・保小中の連携・英語教育などを中心に、子どもたち一人ひとりにしっかり目が行き届いたきめ細やかな教育に取り組んできました。今後もさまざまな社会の変革に対応しながら、引き続き、きめ細やかな教育を進めていく必要があります。

また、スキーや大山登山といったまちならではの資源を活かした体験活動も継続して行い、ふるさとの良い思い出を残していくことも大切です。子どもたちの体力低下の傾向がある中では、運動しやすい環境づくりや体を動かす生活習慣を身につけることも重要です。

さらに、人口減少によって、子ども同士が交流する機会が次第に少なくなってしまう中では、家庭や地域とより連携し、また情報通信技術の積極的な活用やグローバル化への対応など、まちの未来を担う子どもたちの「やりたい」を実現し、大山町で暮らし続けたいと思える子どもたちへの支援が必要です。





【 取組方針 】

1 子どもが遊ぶ中で自ら学ぶ力を育てる

- ① 就学前の子どもたちにとって大切な「学び」となる「遊び」には、発達や成長に欠かせないたくさんの経験が含まれています。まちの豊かな自然を活かした自然体験活動、季節行事や伝統行事などを通し、友達や地域の人などさまざまな人と関わり、自然や文化、人の温かさに触れ、まちの魅力を感じることができるとともに、学びの機会を創出します。
- ② 保育所や地域子育て支援センターがより力を発揮できるように、保育士の研修の充実や保育に関する情報の交換ができるように支援し、保育環境を充実させます。

2 子どもたちの力を伸ばす教育を進める

- ① 幼児期から中学卒業時までを見通した保小中の連携及び架け橋となる取組を推進します。豊かな感性を持った子どもたちを育てることや、子どもたちの可能性を最大限に伸ばすことも重要です。基礎的な学力を身につけるとともに、外国語教育やICT⁵⁶を活用した学習にも取り組みます。
- ② 異なる文化を理解し、尊重してはじめて、自分自身のことを見つめることができます。交流事業等も活用しながら、いろいろな国の人たちと交流するための外国語能力や、自分の伝えたいことを表現できるコミュニケーション能力を身につけた子どもたちを育てます。

3 子どもたちが安心して学習に取り組める環境をつくる

- ① 学習指導、生徒指導、特別支援教育等の充実を図るほか、部活動の在り方の検討、教職員の資質向上や働き方改革に取り組みます。
- ② 地域住民とも連携しながら、子どもたちの安全な通学手段の確保を図ります。また、防犯カメラによる校内での犯罪抑止など、学校環境の改善を図り、安心して学習に取り組める環境を整備します。

4 大山町で暮らし続けることに希望を感じるきっかけをつくる

- ① 町内で働く人との交流、まちの自然や歴史の学習、職場体験学習や進路学習など、ふるさとキャリア教育を推進し、まちの豊かさを伝えます。
- ② 地域の大人の専門性や地域の力を活かし、地域と一体となって子どもたちを育てていくことが、大山町で暮らし続ける一つのきっかけになると考えます。ふるさとキャリア教育を進める上で重要になるコミュニティ・スクールの取組を推進・加速させ、地域と学校の連携・強化、体制の充実を図ります。

主要指標					
指標名	指標説明	単位	当初値 [年度]	目標値 [年度]	備考
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」小学生の割合	全国学力・学習状況調査児童質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の肯定的回答率	%	80.0 [R6]	80.0 [R15]	近年は数値にばらつきがあるが、当初値維持をめざす
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」中学生の割合	全国学力・学習状況調査生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の肯定的回答率	%	73.6 [R6]	80.0 [R15]	近年は数値にばらつきがあるが、当初値以上をめざす
リーダー合宿参加者数	町内小学校4～6年生を対象にしたリーダー合宿の参加者数	人	7 [R7]	10 [R15]	近年は数値にばらつきがあるが、参加募集人数の満員をめざす

【 関連計画 】

・大山町教育振興基本計画

⁵⁶ 情報通信技術(Information and Communication Technology)の略。以前から使われていたIT(情報技術)に、通信ネットワークを活用して、人と人、人とサービスがつながる技術やその活用方法を指す。

02 まちの自然・歴史・文化を知ろう

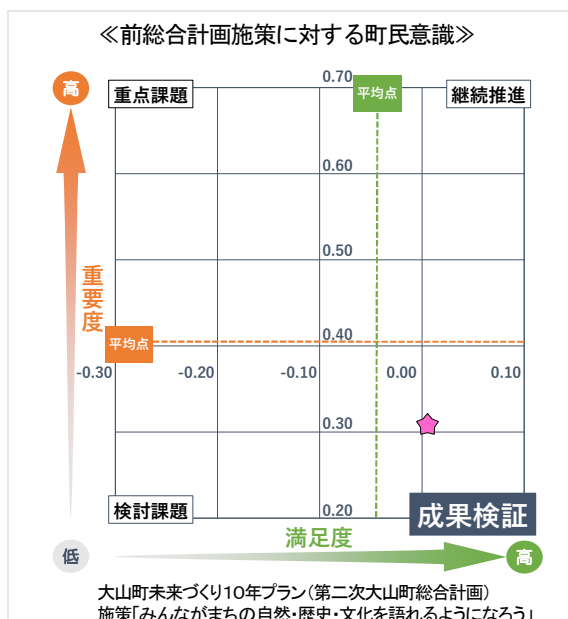
【 施策の目的 】

大山町に暮らす多くの方が、大山の恵みを受けて暮らす中で、まちの自然や歴史、文化の背景を理解し、郷土に愛着をもって生活できるよう、その魅力を伝えるとともに、一緒に学び、体験できる環境をつくります。そして、新たな魅力や付加価値を生み出し、郷土愛が深まる学びにつなげます。さらに、まちの良さを活かし、発展させるために資源を保護し、持続可能な形で活用します。

【 現状と課題 】

中国地方最高峰の大山、西日本最大級のブナ林、約1300年の歴史を持つ大山寺、名和長年公に関わる多くの史跡、松河原海岸のハマナス自生南限地帯、ヒメボタルやオオサンショウウオなどの希少生物、大山町には自然や歴史、文化的な資源があります。大山から日本海まで直線距離約20kmのうちに収まるロケーションは、全国でも稀な恵まれた自然環境です。

普段の暮らしの中では、なかなか向き合う機会の少ないまちの資源を改めて見つめ直すことで、資源のさらなる活用と新たな資源の発掘・活用につながります。地域内だけでなく地域外の視点でまちの魅力を発信することも必要です。地域の魅力を知り、活かす活動を通じて、大山町への愛着を持つ人材づくりが大切です。





【 取組方針 】

1 大山町の魅力を集め、発信する

- ① まちのあらゆる資源や魅力をわかりやすくまとめ、町内外にまちの情報を発信します。大山町のことを知りたいと思ったときにすぐに見つけられるように、町のホームページでは、より積極的に魅力的にまちの情報を伝えます。
- ② 広報だいせんや大山チャンネルをはじめとした町内メディアで、まちの最前線を伝え、SNS⁵⁷なども活用しながら、より多くの人が普段から大山町の資源に目を向けるきっかけを生み出します。

2 まちのあらゆる資源を学び場にする

- ① 町内にある自然や歴史、文化的な資源(大山町所子伝統的建造物群保存地区、史跡大山寺旧境内、文化庁認定の日本遺産、国、県、町指定文化財等)はまさに学びの宝庫です。まちの魅力を一番よく知っているまちの人と一緒に、町内の資源を活かした新しい学びや体験ができるように企画します。
- ② まちの子どもから大人まで、ふるさと学習支援等の学校教育から文化財講演等の生涯学習の現場まで、いろいろな学びの場でまちの資源を活用します。町民一人ひとりがまちの魅力を知り、語れるように取り組みます。

主要指標					
指標名	指標説明	単位	当初値 [年度]	目標値 [年度]	備考
大山チャンネル視聴可能率	大山町内の全世帯数に占める中海テレビ放送とのケーブルテレビ契約世帯の割合	%	79.6 [R6]	80.0 [R15]	横ばい傾向の中で、当初値以上をめざす
大山町公式SNS登録者数	大山町公式SNS(ライン、エックス、インスタグラム)の登録者数	人	3,443 [R6]	5,843 [R15]	増加傾向の中で、当初値以上をめざす
地域の歴史文化に誇りを感じる住民の割合	「地域の歴史文化に誇りを感じるか」という趣旨の設問に対し、肯定的回答を行った小学5年生と中学2年生の回答率	%	79.0 [R6]	80.0 [R15]	横ばい傾向の中で、当初値以上をめざす

【 関連計画 】

・大山町教育振興基本計画

⁵⁷ ソーシャル・ネットワークング・サービス(Social Networking Service)の略。インターネット上で人々がつながり、文章や写真、動画などを通して互いに交流したり、情報を共有したりするサービス。

03 いつでもいつまでもスポーツを楽しむ人を増やそう

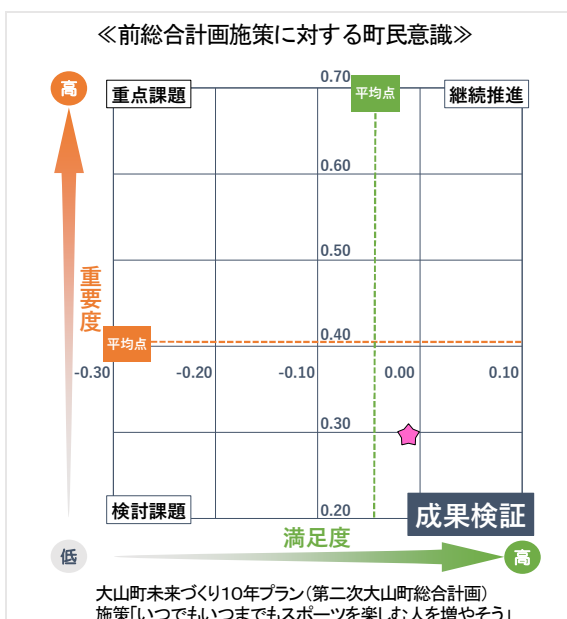
【 施策の目的 】

いくつになっても誰もが気軽にスポーツができる場所があり、スポーツの楽しみ方を教えてくれる人や共有できる人がいて、何よりもその楽しさを分かち合える人と仲間がいるようなスポーツを楽しめる環境づくりに取り組み、スポーツを通じた豊かな人生の実現をめざします。

【 現状と課題 】

大山町には、充実したスポーツ施設がありますが、施設の老朽化が顕著になっています。これからは、施設の数を増やすのではなく、今ある施設をどのように使い、管理するかを考えなければなりません。そのためには、利用者である住民のみなさんの声を施設運営に反映し、民間事業者のノウハウも活用していく必要があります。

また、町内のスポーツ団体は、活動地域や会員の固定化、指導者不足、子どもたちのスポーツ離れなどの課題に直面しています。部活動については、学校と地域の連携（地域連携）から地域移行（地域展開）へという流れもあり、あり方が大きく変わろうとしています。町内のスポーツ協会と協力して、スポーツの楽しさや大切さを広く伝え、スポーツを楽しめるまちづくりに取り組むことが大切です。





【取組方針】

1 スポーツを盛り上げる人や団体の活動を支援する

- ① 住民や団体などが企画するスポーツの活動や地域が一体となって参加できるスポーツの場など、それぞれの活動を積極的に支援し、健康の維持や、人と人がつながり笑顔になるスポーツ振興を図ります。
- ② スポーツ推進委員を中心に競技スポーツや生涯スポーツの指導ができる人を身近に増やし、スポーツをはじめのきっかけづくりにつなげます。スポーツの指導を担う人材を育成するため、資格取得などについて支援をします。

2 スポーツを楽しめる環境を整える

- ① 学校施設の一般開放を継続し、住民の誰もが、身近な施設を利用して、いつまでも気軽にスポーツを楽しめる環境をつくります。
- ② 社会体育施設の運営には、指定管理者制度など民間事業者のノウハウの活用や適切な運営方法を検討しながら、この先も利用しやすい体育施設とサービスの提供をめざします。
- ③ 各種スポーツ大会のみならず、アスリートや指導者を招いてのスポーツイベントなど、スポーツに取り組むきっかけづくりに取り組みます。

主要指標					
指標名	指標説明	単位	当初値 [年度]	目標値 [年度]	備考
スポーツしよい大山の会員数	スポーツしよい大山の会員数	人	44 [R6]	60 [R15]	減少傾向の中で、当初値以上をめざす
大山町スポーツ協会主催の大会参加者数	大山町スポーツ協会主催の大会の年間参加者数	人	805 [R6]	900 [R15]	減少傾向の中で、当初値以上をめざす
社会体育施設利用者数	社会体育施設の年間利用者数	人	76,478 [R6]	77,000 [R15]	近年は数値にばらつきがあるが、当初値以上をめざす

【関連計画】

- ・大山町教育振興基本計画
- ・大山町スポーツ推進計画

04 文化・芸術を楽しめる機会を増やそう

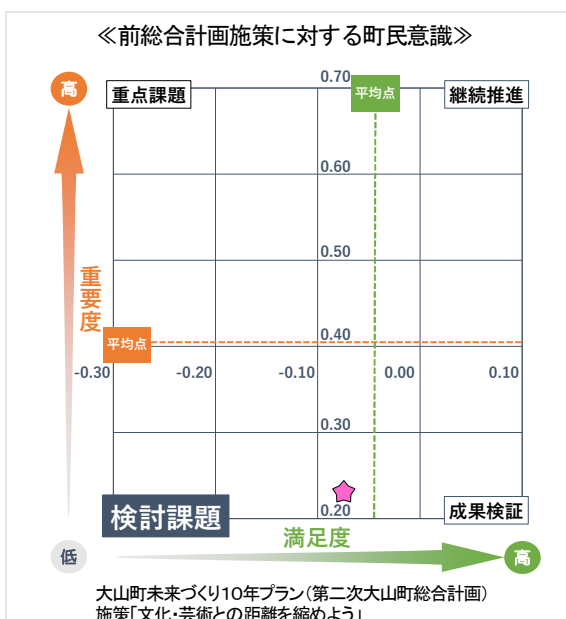
【 施策の目的 】

日常生活のなかで、質の高い文化・芸術に触れる機会や活動を楽しめる機会をつくり、豊かな想像力と新しい感性を育みます。文化や芸術に触れるイベントを通じて、文化・芸術が特別なものから身近なものになるように取り組みます。また、活動の中で生まれたものを発信・発表する場を設けることで、日々の暮らしの中に喜びを、まちには活気をもたらすことをめざします。

【 現状と課題 】

町内には、文化・芸術に関わりを持つ人、興味や関心を持ち活動される人が増えています。文化・芸術活動やそれらを鑑賞することは、町民のウェルビーイング⁵⁸につながることであり、その機会を増やすことはとても重要です。住民のみなさんの自主的な活動やアートスタート事業による子どもたちと文化・芸術とのふれあい、公民館のサークル活動も活発化しています。

一方で、文化サークル活動に関わる人の高齢化や固定化、若年層のサークル離れが課題であり、多くの人にとっては、文化・芸術は非日常的なものという意識があります。私たちの暮らしに楽しさや刺激を与え、想像力をかきたててくれる文化・芸術が、より多くの人に気軽に触れられる機会を生み出していくことが大切です。



⁵⁸ 個人や社会のよい状態。健康と同じように日常生活の一要素であり社会的、経済的、環境的な状況によって決定される。



【 取組方針 】

1 文化・芸術に触れるきっかけを増やす

- ① 小中学校芸術鑑賞事業の開催などを通じて、文化・芸術に触れる機会を増やし、いいものにたくさん触れることで、文化・芸術との距離を縮めます。
- ② 町内に限らず、県内各地でも数多く展開される文化・芸術に関する活動やイベント、事業を住民のみなさんにお知らせすることで、より幅広い文化・芸術との接点を生み出していきます。
- ③ 鳥取県立美術館をはじめ町外施設において展示公開される優れた文化・芸術に触れる体験・機会が増えるような取り組みを進めます。

2 文化・芸術活動を支援する

- ① 町内に残る伝統行事・伝統芸能を次の世代に引き継いでいくために、地域の伝統行事・芸能活動により多くの人々が触れる機会をつくり、若い世代を中心として、町内の幅広い世代の人たちによって保存・伝承されるよう支援します。
- ② 大山町総合文化祭の開催など、住民が取り組む文化・芸術活動を発表する場を提供し、活動のレベルアップにつなげるとともに、文化・芸術の楽しさ、魅力をより多くの人に伝えるきっかけをつくります。また、未就学児を対象に芸術に触れる機会を促進する団体の活動を支援します。
- ③ 伝統行事・芸能、文化・芸術活動に取り組める場所づくりや活動に参加できる場所の紹介などを通じて、活動を支援します。
- ④ 町民の自らの作品を展示するような、文化・芸術の振興に意欲的な方の取組への支援を進めます。

主要指標					
指標名	指標説明	単位	当初値 [年度]	目標値 [年度]	備考
公民館及び地域自主組織主催の文化芸術事業の数	公民館及び地域自主組織が主催する文化・芸術関係の展示・事業の年間回数	回	276 [R6]	280 [R15]	横ばい傾向の中で、当初値維持をめざす

【 関連計画 】

・大山町教育振興基本計画

05 まちの誇りとなる文化財を守り活用しよう

【 施策の目的 】

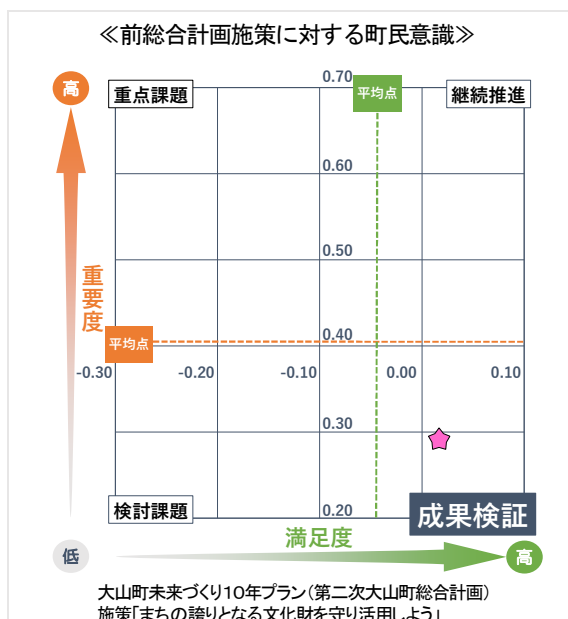
先人が築き、守ってきた文化・文化財の発掘・磨き上げに取り組むことで、町民の歴史文化への関心を高めるとともに、郷土への愛着を深める文化の向上に取り組めます。また、世界に向けた情報発信や観光振興など、日本遺産のストーリーや文化財の活用による交流人口の拡大を図ります。文化・文化財を継承する担い手不足の解消と貴重な文化財の滅失や散逸を防ぐことなどを考えて、観光や教育などさまざまな分野で積極的に活用します。

【 現状と課題 】

1300年を超える歴史を持つ大山寺、国の重要文化財や県の指定保護文化財に指定された建物などを含む大山町所子伝統的建造物群保存地区、こうした大山町の歴史や文化を象徴する文化財は、地域の顔であり、私たちの誇りです。

しかし、過疎化と少子化・高齢化により、伝統的な茅葺住宅や土蔵が維持できずに失われ、世代交代が進むにつれ、建物や古くからある家財の文化的価値を知らないまま処分されることも増えました。

これらの文化財を守るためには、文化財を正しく知ることが大切です。また、地域の風習や今に残る文化・伝統の保存も大切なことです。そのためには、イベントや講座などでの積極的な情報発信、小中学校でのふるさと学習などの学びの場を整えていく必要があります。今残っている文化財がこれ以上失われることのないよう、適切にその価値や魅力を伝えていく必要があります。





【 取組方針 】

1 まちの文化財を魅力的に発信する

- ① まちの文化財の価値を活かすために、その魅力を内外の視点から再発見し、インターネット等を利用した情報発信を積極的に行い、まちづくりや観光客の誘致、ふるさと教育の推進につなげます。
- ② まちの文化財を守りたいという思いを持つ住民を増やすために、重要文化財修理時の見学会や小学校への出前講座等を開催し、文化財の成り立ちや、どのように次世代へ引き継いでいくのか、催しや体験、展示等で文化財への理解を深める機会を提供します。

2 文化財を正しく理解し、保存し、活用する

- ① 文化財を大切に守り、活用するには、その文化財の歴史的な背景や物理的な特徴なども適切に把握する必要があります。現地調査等を継続して行い、現状を記録するとともに地域の歴史をひもときます。
- ② 日本遺産の構成文化財である大山町所子伝統的建造物群保存地区、史跡大山寺旧境内等の保存を続けるとともに文化財全般の保存活用に向けた継続的な取り組みを進めます。

主要指標					
指標名	指標説明	単位	当初値 [年度]	目標値 [年度]	備考
ホームページ閲覧回数	大山町ホームページの各文化財等項目ページの年間閲覧回数	回	町の文化財 699 所子伝建地区 1,265 大山寺旧境内 260 日本遺産 102 [R6]	町の文化財 750 所子伝建地区 1,300 大山寺旧境内 300 日本遺産 150 [R15]	増加傾向の中で、当初値以上をめざす
講座・学習会・イベントの開催数	日本遺産ストーリー関連の講座・学習会・イベントの開催数	回	30 [R6]	30 [R15]	増加傾向の中で、当初値維持をめざす
日本遺産の認知度	小学生・中学生へのアンケートにより「日本遺産を知っている」と回答した割合	%	78.0 [R6]	80.0 [R15]	減少傾向の中で、当初値以上をめざす

【 関連計画 】

- ・大山町教育振興基本計画
- ・史跡大山寺旧境内保存活用計画
- ・史跡大山寺旧境内整備基本計画
- ・大山町所子伝統的建造物群保存地区保存計画



【 取組方針 】

1 学びの好奇心を刺激する環境をつくる

- ① 社会教育の拠点施設である公民館・図書館を核に、学校・諸関係機関、社会教育団体、地域自主組織と連携し、住民の学びの好奇心を刺激するような環境をつくり、社会教育の推進に努めます。
- ② 生涯学習に関する活動を自らの力で生み出すことのできる住民を増やしていくため、学ぶことの楽しさを伝える取り組みを進めます。

2 生涯学習と交流を支える公民館にする

- ① 誰もが学びを通じて交流し、互いの活動を高めあい、活性化する開かれた公民館運営をめざします。
- ② 生涯学習事業の協働の担い手となる人材の発掘や育成、支援により、学習機会の提供や実践の場づくりを進めます。
- ③ 生涯学習拠点の公民館機能に加えて、住民の交流拠点として活用を進めます。

3 図書館をもっと利用したくなる場所にする

- ① 図書館間のネットワークを活かし、町民に広く迅速に資料提供するとともに、情報データベースの導入等により、利用者が必要とする情報を提供できるよう努めます。
- ② さまざまな利用者のニーズに応じた幅広い資料を収集・整備・保存することで、誰もが本を読むことの大切さや楽しさを実感できる図書館サービスを実現します。また、移動図書館車の運行により、来館が難しい方への資料提供サービスに努めます。
- ③ 学校・学校図書館、保育所(園)、子育て支援センター、児童クラブ等と連携して、読書環境の充実を支援し、おはなし会やブックスタート事業等、諸事業により来館を促し、子どもたちの感性を磨き、表現力を高める子どもの読書活動を推進します。

主要指標					
指標名	指標説明	単位	当初値 [年度]	目標値 [年度]	備考
学びの機会を生み出す人材の数	サークル活動等の住民主体で行う学びの場を企画する主催者の数	人	137 [R6]	140 [R15]	横ばい傾向の中で、当初値維持をめざす
学びの機会を提供した回数	サークル活動等の住民主体で行う学びの場が提供された回数	回	2,475 [R6]	2,500 [R15]	横ばい傾向の中で、当初値維持をめざす
図書館利用者数	図書館(本館・分館)の年間利用者数	人	16,342 [R6]	16,400 [R15]	増加傾向の中で、当初値以上をめざす
図書館レファレンス対応件数	図書館の年間レファレンス(資料相談)対応件数	件	1,038 [R6]	1,050 [R15]	増加傾向の中で、当初値以上をめざす

【 関連計画 】

- ・大山町教育振興基本計画
- ・大山町子どもの読書活動推進計画